

令和7年3月31日

**香川大学が前回に続き瀬戸内国際芸術祭 2025 に参加
～瀬戸内の伝統的な生活・文化・芸術で構成する作品を国内外に発信～**

香川大学は前回 2022 年度に引き続き瀬戸内国際芸術祭 2025 に学生、教職員が“こえび隊”として積極的に参加するとともに、2 作品（夏会期、秋会期）を出展いたします。
秋会期では、10 月 19 日（日）に「瀬戸内の伝統生活文化・芸術発信プロジェクトⅡ」を 2 部構成で開催いたします。

1 部は、瀬戸内地域で暮らす人たちの生活から生まれた音楽（仕事歌）を労働風景の再現をしながら演奏いたします。限界芸術として消えつつあるその音楽とともに、地域の人たちとその仕事、郷土の風景を現代に甦らせ、現代人として先人たちの郷土への思いを伝える場にいたします。

2 部では、四国での最新作オペラ「扇の的」のダイジェスト版を公演いたします。香川は 60 年前から中四国地方で先駆けてオペラ活動が始まり、現代でもその活動は継続され、瀬戸内での源平合戦を題材とした作品が次々と公開されるなど、オペラ活動が盛んな地域となっています。神戸須磨・一の谷合戦、続く香川高松・屋島の合戦（扇の的）をオペラ化した 2 作品をダイジェスト版に再編し披露いたします。

この作品ならではの平家物語の新しい解釈、現代の人たちに分かりやすい舞台作り、演出等を行い、学生、教員や地域の人々との公演をととして、瀬戸内地域で生まれた芸術を地域のみならず国内外に広げ、瀬戸内ならではの魅力発見・発信に繋げたいと考えます。

つきましては、是非取材くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

【公演名】

瀬戸内国際芸術祭2025

香川大学作品「瀬戸内の伝統生活文化・芸術発信プロジェクトⅡ」

瀬戸内仕事歌 & ～瀬戸内源平合戦絵巻～オペラ「扇の的」ダイジェスト版

日時：2025 年秋期 10 月 19 日（日曜日）16 時半開演（開場：15 時半）入村可能時間：14 時

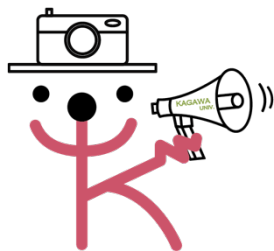
場所：四国村ミュージアム（高松市屋島中町 91） 農村歌舞伎舞台

チケット：前売 3,000 円 当日 3,500 円（パスポート提示で 3,300 円）小中高生 1,500 円

（いずれも四国村入村料含む）



前回時（瀬戸内国際芸術祭 2022）の様子



➤ お問い合わせ先

香川大学地域・産官学連携戦略室 特命教授 若井 健司

TEL : 090-4507-5308

E-mail : wakai.kenji@kagawa-u.ac.jp